

牧羊ひろば



柏原教会教会学校

● 柏原教会沿革

一九三二年（昭和七年）、英国の貴族ドロシー・エレン・ホーア宣教師により日本伝道隊の働きとして、大正通りに伝道が開始されました。当時の柏原町は、中河内郡では人口第一位の町でありました。ホーア師は、幾多の困難に直面しながらも、この地にキリストの教えを祈りをもって伝えられたのです。戦後の一九四六年、日本伝道隊の向後昇太郎牧師夫妻を迎えて5人の信徒によって教会の復興がなされ、その後、梅原貞治郎牧師夫妻、川原崎晃牧師夫妻、現在の西本耕一牧師夫妻へと引き継がれております。この間一九五四年に、現在地へと会堂が移されました。この会堂は、元酒蔵だった所を改装して使うようになったため、「赤レンガの会堂」として有名でした。酒蔵の中へ子どもや大人が入っていき、そこ

で礼拝が持たれているのを想像してみてください。隔世の感がありますね。

その後一九八一年に、4階建ての新会堂が建立され、その間に、羽曳野教会と西大和キリスト教会を生み出して参りました。この二つの教会とは、現在も姉妹教会として色々な行事で交わりをもっております。

● 教会の地理的背景

柏原市は、中河内の最南端で、JR大和路線、近鉄大阪線、近鉄南大阪線が通過する大阪府と奈良県を結ぶ要路とも言える位置にあります。信貴生駒しぎいこまの山々と大和川石川の合流に接しており、地形的に今以上の住宅の急激な開発は見込めない状況であり、人口の増加も殆んど見込めないと考えられます。教会周辺は比較的古い家並みですが、教会の位置は、JR柏原駅から徒歩3分、近鉄堅下駅から徒歩15分と集会に來やすい場所に有ります。

● 礼拝と分級

礼拝は毎週日曜日に十時半から「牧羊者」をテキストにして行われます。出席者は、大体6〜7名です。しか

し、毎月一回ボーイスカウトのカブ・ビーバー隊と一緒に
 になりますので、その時は20名位増えます。礼拝内容は
 大人の礼拝と変わらず、白板に書かれた礼拝順序に従っ
 て行われます。又、み言葉と暗唱聖句は別の白板に書か
 れており、礼拝の前後に、又、メッセージ中に、教師か
 ら突然指名されたりして「えーっ、何やったかなー」と
 言いながらも元気に答えてくれます。メッセージは、各
 先生のキャラクターが表われ、紙芝居、フランネルグラ
 フ、み言葉カードによって進められています。たまには
 腹話術人形のケンちゃんも登場します。献金のお祈りは
 子どもたちの唯一の奉仕です。早口有り、小さくボソボ
 ソとお祈りしたりしていますが、これも大きくなった時
 の思い出となり、お母さんたち（元教会学校生徒）に言
 うと「えーっ、私らの時は先生が
 祈ってはったのに、今度、しっか
 り祈れるように言うとかわ…」で
 すって。



TKR

て行っており、生徒手帳に暗唱聖句を記入しています。
 上級生は今日の話の復習を聞くようにしており、お祈り
 は生徒と手をつないで祈ります。これによりスキンシッ
 プが持たれています。特に二人の6年生は洗礼を受けて
 おり、第一主日は聖餐式せいさんしきを受けるため大人の礼拝に合流
 しています。

幼稚科は簡単な工作や紙芝居です。なれない手つきで
 ハサミを使っているのが微笑ましいですよ。

『御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても』

Ⅱ テモテ4・2

このみ言葉のもとに教師は教職一名、信徒八名です。
 最高齢は74歳の兄弟ですが過去、90歳過ぎまで現役で頑
 張られた兄弟が居られたので、「まだまだ若い者には負
 けられん」と先頭を切って活躍されております。

●年間行事

他教会とよく似た内容ではないかと思いますが、

・三月

*進級式・一年間の出欠に応じて金・銀・銅
 のメダルを頂きます。

・四月

*イースター・近所の大和川河原に集合して

ボーイスカウトと一緒に早天礼拝を守っています。教師の即席劇、大紙芝居などでイースターの本当の意味を教えてもらい、その後サンドイッチとイースターエッグを戴いて帰ります。雨天の時、教会の礼拝堂で同じような早天礼拝を行っています。

＊ちなみにボーイスカウトは、柏原教会を本部として活動しており（今年発団45周年）、ボーイスカウトの最高の富士賞をとるために10回以上の礼拝出席、一回2時間の聖書の講義を10回、合計20時間義務付けされています。講義をする牧師が大変ですが、昨年は他教会からも受講し、五名が合格しました。

・五月
＊母の日・教会のご婦人に教会学校より毎年、カーネーションを送っています。

・六月
＊花の日・礼拝後、近所の交番、消防署、老人ホームへ花を持つて慰問に行っています。消防署では運転席に座らせて頂き、「ハイ、チーズ」という風景も見られます。老人ホームでは一緒に童謡を唄ったり、肩叩きをしてあげます。



夏期学校集会



夏期学校スイカ割り

・七月
＊サマースクール・夏休みに入つて直ぐに教会へ集まり、科学実験やマジック教室、簡単なお菓子作りをして半日過ごします。

・八月
＊ファミリーキャンプ・

毎年、一泊二日のキャンプです。牧羊者のテキストを使って楽しいキャンプファイヤー。高学年はこの時期、決心をして洗礼を受けられるよう指導されます。

・九月
＊敬老の日^{あいさんかい}の前日に楽しいぶどう狩りをし、翌日の敬老愛餐会に皆でいただきます。



夏期学校キャンプファイヤー

・十月

＊大阪教区の教会学校教師研修会に全教師が参加するようにしています。

・十一月

＊芋ほり・楽しいサツマイモ掘り。虫を捕まえるのも楽しい収穫感謝の時です。



子ども祝福式

・十二月

＊幼児祝福式・牧師先生に一人ひとり名前を挙げて祈って頂きます。てれくさいけれどもうれしいひと時です。

＊クリスマス・第一部で礼拝し、献金を町の善意銀行、キリスト教施設に捧げ、第二部で約一ヶ月前から分級の時間に練習した降誕劇、トーンチャイム、ハンドベルの発表をボーイスカウトのカブ・ビーバー隊と一緒にを行い、なぞなぞやゲームにチャ



CSクリスマス

・一月

＊元旦礼拝・十一時から親子礼拝を行い、礼拝出席者全員で記念写真です。

＊餅つき・全員、一回だけ杵きねを持たせてもらいます。杵取りをする先生方のヘッピリ腰。後でワイワイと写真を撮

＊餅つき・全員、一回だけ杵きねを持たせてもらいます。杵取りをする先生方のヘッピリ腰。後でワイワイと写真を撮



餅つき大会



CSクリスマス降誕劇



CSクリスマス合奏

見ながら、つき立てのお餅をいただきます。

この他、春と秋の子ども大会をカブ・ビーバー隊と一緒にしています。礼拝で、お話、ビデオを観賞した後、歌やゲームなどをして遊びます。毎年、趣向を変えるようにしていますが、腹話術のケンちゃん、何時も大人気。触らせると迫られるので、始まるまでは手ぬぐいを泥棒被りして避難しています。又、教会では少子化時代に入り、子どもの数が少なくなっており、対応する為に、次のようなことをしています。

(1) 公園伝道

土曜日の午後三時に近くの公園に出かけていき、紙芝居、ゲームを主として行い、その間に少しだけ神さまのお話を加えています。最近、孫の世話をしている方や若い主婦も時々、輪に入ってくれます。

(2) キッズブラウン

英会話教室を昨年から始めています。四歳時からを対象として毎週、水曜・土曜に行っています。去年から小学校でも英語を始めるといふ文部省の方針を聞いて始めたのですが、予定した人数が集まらず苦勞しています。ただ、奉仕者（CS教師以外にも信徒の姉妹が協力）は、

熱意を持って教材に取り組んでおり、将来は多くの生徒が集まるものと祈っております。

これらの行事をスムーズに行うため、毎月第二主日に教師会を持ち、学びと祈り、又、行事予定についてケンケンガクガク意見を戦わせます。

この教師会は、中高生の先生方（五名）とも一緒です。ちなみに中高生は、昨年から中学生になると教会に来なくなる生徒のため牧羊者を中心にした第一礼拝で朝、九時から学んでいます。第一礼拝ではワシシップ中心の讃美歌やギターも用いられ、子どもたちが来やすい雰囲気作りもしています。

今年、柏原教会は創立八十周年を迎えました。今、CS教師は主婦が多く遠隔地から来られる方も多いのですが、このために夕食の支度も遅くなるというので教会へ来る前に準備してくるそうです。この先生方の熱意が必ず報われ、多くの生徒が集まってくることを願ってやみません。

（上田浅雄）



教会バザーCSコーナー